

〈解答〉

- ① 1 ①〔例〕 What can I do for her?  
②〔例〕 She looked happy when she saw it. [When she saw it, she looked happy.]  
2 ① エ ② ア  
3 ㉞ she teaches me English on Saturdays  
① How about using its picture

配点 各2点 12点満点

〈解説〉

① 〈対話文和訳〉

龍 太：ああ、ジェニー、ここにいたのですね。教室にいなかったからあなたを探していたところでした。

ジェニー：こんにちは、龍太。どうしたのですか？

龍 太：ぼくの英語の先生であるジョーンズさんが来月オーストラリアに帰るので、ぼくは何かしたいのです。① ぼくは彼女のために何かができるでしょうか？

ジェニー：ジョーンズさん？ ① 私は彼女を知りません。 彼女はこの学校で働いているのですか？

龍 太：いいえ、彼女は大学生です。彼女はぼくの家近所に住んでいて、㉞ 毎週土曜日に、ぼくに英語を教えてくれています。

ジェニー：なるほど。そうですね、あなたは彼女と一緒に、熊本のどこかへ行きましたか？

龍 太：はい、行きました。ぼくたちは去年の夏、ぼくの父と一緒に鍋ヶ滝公園へ行きました。

ジェニー：そこはどうでしたか？

龍 太：滝がとてもきれいでした。② 彼女はそれを見た時、幸せそうでした。

ジェニー：① その写真を使って、それにメッセージを書いたらどうでしょう？

龍 太：いいですね！ ありがとう、ジェニー。そうします。

ジェニー：それからメッセージの中で彼女にありがとうと言うのを忘れないで。

龍 太：② もちろん。 「ぼくにたくさん教えてくれてありがとうございます」と書くつもりです。彼女はぼくにとても親切にしてくれます。彼女がいなくなるのはさびしいです。

## 1 〈英作文〉

和文英訳の解きかたを確認しよう。まず、日本語をよく読んで、以下のポイントを押さえよう。

① 「文の種類」を判断する。

→ (肯定文, 疑問文, 否定文, 命令文など)

② 「時制」を判断する。

→ (現在, 過去, 現在完了など)

③ 「主語」と「(助) 動詞」を判断する。

このあとに、必要があれば、疑問詞や、修飾語句などを付け加える。

慣れないうちは、文頭から書こうとせずに、分かるところから書くようにしよう。

Ⓐ 「ぼくは彼女のために何ができるでしょうか」

① 疑問文：～でしょうか

② 時制：現在

③ 主語：ぼく

動詞：できる＝することができる

「何が」とたずねる疑問文なので疑問詞の What で始める。次に「ぼくはすることができる」を疑問文の形にして can I do を置き、修飾語句の for her 「彼女のために」を加えればよい。

まとめると、

→ What can I do for her?

となる。

Ⓑ 「彼女はそれを見た時、幸せそうでした」

① 肯定文：～でした

② 時制：過去

③ 主語：彼女

動詞：～に見える

一般動詞過去形の肯定文なので、主語である she に続けて、動詞の looked を置き、形容詞の happy 「幸せに」を続ける。最後に、修飾語句の when she saw it 「それを見た時」を加えればよい。

まとめると、

→ She looked happy when she saw it.

となる。

## 2 〈空所補充〉

① ジェニーが、龍太のジョーンズさんについての発言 (= 来月オーストラリアに戻る

彼女にメッセージを書きたい) を受けて聞き返し、直後で「この学校で働いているのですか?」とたずねていることがヒントになる。ジェニーが、エ「私は彼女を知りません」と言ったとするとつながる。

- ② 直後で龍太が「『ぼくにたくさん教えてくれてありがとうございます』と書くつもりです」と言っていることがヒントになる。龍太が、ア「もちろん」と答えたとするとつながる。

### 3 〈整序〉

- ㊦ She lives near my house and **【she teaches me English on Saturdays】**.

「毎週土曜日に、ぼくに英語を教えてくれています」という意味。

・〈teach + 人 + ~〉「人に~を教える」

- ㊧ **【How about using its picture】** and writing a message on it?

「その写真を使ってはどうでしょうか」という意味。

・〈How about ~ ing?〉「~するのはどうですか」